

2014 年 6 月 30 日

報 道 関 係 各 位

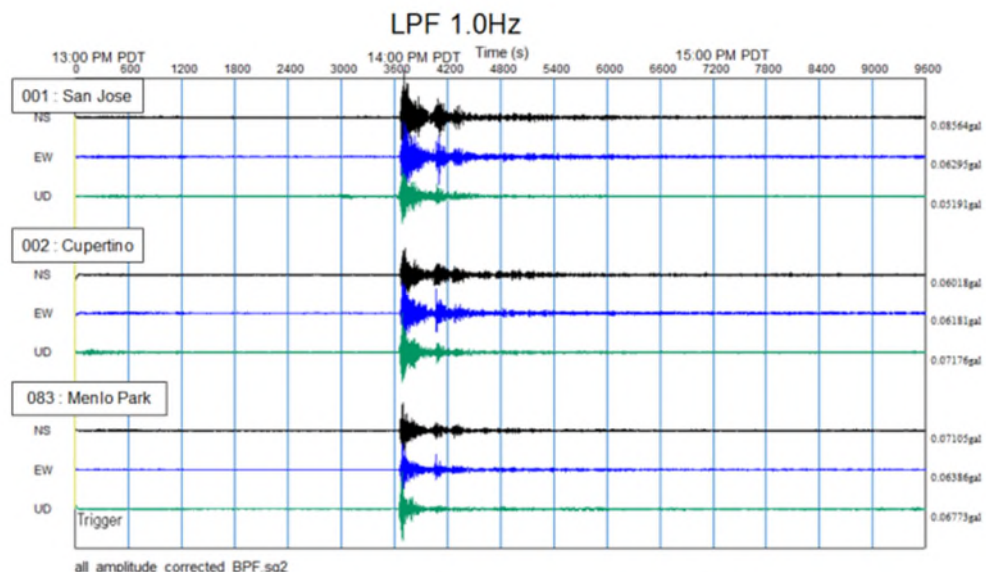
応用地質株式会社（東証 9755）

**アリューシャン列島で発生した巨大地震（M8.0）の観測波形を提供
～長周期地震動が懸念される関東平野と似た地盤構造のシリコンバレーで地震観測～**

応用地質株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：成田 賢）は、6 月 23 日にアリューシャン列島で発生したマグニチュード 8.0 の巨大地震の地震波形を取得したので、希望する方に提供いたします。

地震波形を取得した場所は、応用地質グループが米国カリフォルニア州サンフランシスコ近郊に展開している「OYO シリコンバレー地震観測網」の 3 地点で、長周期地震動被害が懸念されている関東平野や大阪平野と地盤構造が似ている場所です。

今回得られたデータは、サンフランシスコ近郊の基盤構造や振動特性の研究にはもちろん、関東平野や大阪平野など日本の平野部の振動特性の研究にも大変重要なものです。応用地質グループは、今後も地盤構造や地震動の研究を行い、世界の地震被害の軽減に貢献したいと考えています。

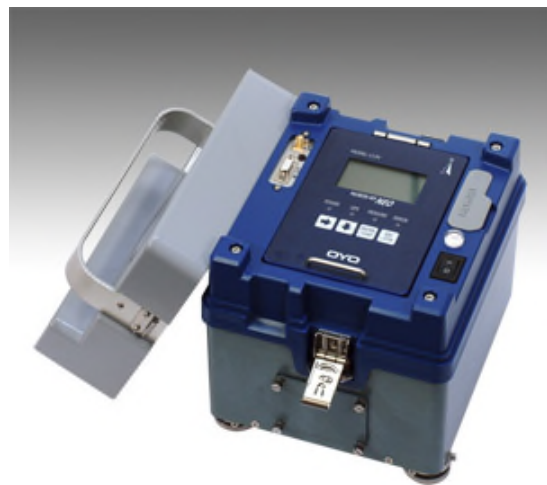


「OYO シリコンバレー地震観測網」を展開している理由

近年、高層ビルの耐震や液状化の発生などにおいて、長周期や長時間継続する地震動が注目されていますが、このような長周期で長時間継続する地震動は、関東平野や大阪平野など基盤の深い平野で発生します。ロサンゼルスやサンフランシスコなど米国西海岸の平野部は、関東平野や大阪平野と同じく基盤が大変深く、長周期・長時間継続地震動による被害の発生が懸念されています。

このように平野部の深部地盤構造は地震被害を軽減する上で大変重要であり、「OYO シリコンバレー地震観測網」はこのような深部地盤構造を求めるとともにその振動特性を把握するために展開しているものです。

また、「OYO シリコンバレー地震観測網」では、当社で開発販売している McSEIS MT-NEO（マックス・エムティネオ）を地震計として用いています。McSEIS MT-NEO は高感度・高性能の加速度計を用いた広帯域三成分地震計であり、常時微動測定や微動アレイ探査、構造物の耐震性能把握などの振動測定から、強震動、微小地震、遠地地震などの地震観測まで幅広く活用することが出来ます。



McSEIS MT-NEO 商品サイト

http://www.oyo.co.jp/products_lists/mcseis-mt-neo/

本観測波形のデータおよび「McSEIS MT-NEO」に関する問い合わせは、下記までお問い合わせください。

＜製品・データ提供に関する問合せ＞
計測システム事業部 サービス開発部
TEL:029-851-5078

＜本リリースに関する問合せ窓口＞
社長室長 川地・津野
TEL:03-5577-4501(代)